

# 消 防 概 況

令和3年（1月1日～12月31日）

火災件数 129件 (R2 140件)	前年比較	主な火災原因		
	11件減	電灯電話等配線	10件 (7.8%)	電気関係 24件 (18.6%)
		配線器具	7件 (5.4%)	
7.9%減	電気装置	4件 (3.1%)		
	電気機器	3件 (2.3%)		
	たばこ	14件 (10.9%)		
		こんろ	14件 (10.9%)	
		放火(疑い含む)	8件 (6.2%)	
		ストーブ	5件 (3.9%)	

救急件数 37,832件 (R2 35,203件)	前年比較	主な事故種別	
	2,629件増	急病	24,299件 (64.2%)
		一般負傷	5,532件 (14.6%)
7.5%増	交通事故	1,713件 (4.5%)	

救助件数 185件 (R2 142件)	前年比較	主な事故種別	
	43件増	交通事故	74件 (40.0%)
		水難事故	46件 (24.9%)
30.3%増	建物等による事故	10件 (5.4%)	
		火災	6件 (3.2%)

警戒件数 729件 (R2 585件)	前年比較	主な事故種別	
	144件増	自火報等の発報	245件 (33.6%)
		電柱等のトラブル	141件 (19.3%)
24.6%増	油の漏洩	94件 (12.9%)	
		枯草等の焼失	44件 (6.0%)

# 火 災 概 況

令和3年中の火災件数は129件で、前年と比較して11件減少しました。

火災による死者は5人で、そのうち放火自殺者を除いた死者は2人となり、政令市移行後、最も少ない年になりました。

また、住宅からの出火は建物火災の56%を占めていることから、住宅火災を未然に防止するため、消防局と消防団、防火連合協議会、自治会が連携して地域に密着した火災予防に努めています。

区分	令和3年	令和2年	比較増△減
火災件数（件）	129	140	△ 11
建物（住宅火災）	97(54)	109(61)	△ 12(△ 7)
林野	-	-	-
車両	14	12	2
船舶	-	-	-
その他	18	19	△ 1
焼損床面積（㎡）	4,974	5,044	△ 70
焼損棟数（棟）	169	168	1
全焼	35	34	1
半焼	5	10	△ 5
部分焼	62	39	23
ぼや	67	85	△ 18
死者（うち放火自殺者）（人）	5(3)	5(2)	-(1)
負傷者（人）	28	30	△ 2
り災世帯（世帯）	107	107	-
り災人員（人）	254	255	△ 1
主な火災原因（件）			
電灯電話等配線	10	14	△ 4
配線器具	7	10	△ 3
電気装置	4	7	△ 3
電気機器	3	9	△ 6
（電気関係）	24	40	△ 16
こんろ	14	13	1
たばこ	14	12	2
放火（疑い含む）	8	15	△ 7
ストーブ	5	11	△ 6

※ 比較増△減は令和3年を令和2年と比較したものです。